

鴻巣西中通信

学 校 だ よ り

鴻巣市立鴻巣西中学校
鴻巣市大間1161番地
令和2年5月7日

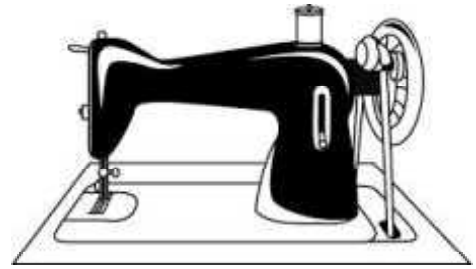
第2号

「静」で始まり「静」で終わる一日

～「朝の読書」と「帰りの視写」で～

校 長 服部幸司

80歳を超えた母が、ほこりをかぶった小型ミシンを運び出し、裁縫仕事を始めた。▼つくっているのはますくかたがみにそっておきにいりのはしきれをきりぬきぬいあげるとはりぬいあげていたが、まずくのりようさんにちようせんすべくおしいれのおくでよせいをとおくつていたみしんのさいとうばんとなつた▼…続く

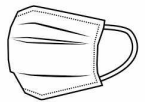


左上は令和2年4月19日(日)の埼玉新聞コラム「さきたま抄」の冒頭部分です。▼～▼までの部分は、私がひらがなに直したのですが、スラスラと漢字かな交じり文に直せるでしょうか。→答えは矢印の下です

80歳を超えた母が、ほこりをかぶった小型ミシンを運び出し、裁縫仕事を始めた。▼作っているのはマスク。型紙に沿って、お気に入りの端切れを切り抜き、縫い上げる。最初は一針一針、縫い上げていたが、マスクの量産に挑戦すべく、押し入れの奥で余生を送っていたミシンの再登板となつた▼…続く

本校では今年度から『コラム視写』に全校で挑戦します。挑戦するのは(火)～(木)の帰りの会始まりの5分間です。朝の読書と帰りの視写で、「静」で始まり「静」で終わる1日1日を実現し、学力向上を目指します。下のようなコラムを3日かけて、ひたすら視写します。

■新聞のコラムは、決められた字数でタイムリーな話題が、的確に無駄なく表現されています。



80歳を超えた母が、ほこりをかぶった小型ミシンを運び出し、裁縫仕事を始めた▼作っているのはマスク。型紙に沿って、お気に入りの端切れを切り抜き、縫い上げる。最初は一針一針、縫い上げていたが、マスクの量産に挑戦すべく、押し入れの奥で余生を送っていたミシンの再登板となつた▼さいたま市浦和区の診療所。事務スタッフやカウンセラーは、医療用のマスクではなく、おしゃれな絵柄や刺しゅうの入った手作りマスクで患者を迎えている。緊張感が続く医療現場だが、マスク一つ変えるだけで、スタッフの笑顔がさらに輝く▼「近くマスクが大量入荷するので、購入しないか」という知人からのメールが相次いで届いた。「コロナは抑えこんだ」と発信している中国では、マスク生産が本格化してきたらしい。今月末から、かなりまとまった数が入ってくるという▼忘れてはならないのが、国費466億円を投じ、全家庭に送られる布マスクだ。不織布マスクに慣れてしまった方は、顎を隠せない不安定感が気になるという声を聞く。繰り返し洗って利用できる利点もある。大事にしたい▼医療的に完璧にウイルスを遮断できるマスクは、相当高額になる。遮断以上に大事な機能がマスクにはある。エチケットと思いやりの気持ちを発信する機能が備わっている。清潔で好印象を発信するマスク顔になりたいものだ。